

# 2015年度 漢城大学サマープログラム報告書

函館校 国際文化・協力専攻  
3年 吉田七菜

私は、8月17日～29日に行われた漢城大学のサマープログラムに参加させていただきました。今回は、札幌校から1名、旭川校から1名、函館校から1名、計3名の参加でした。プログラム中は、語学や文化の他に、実際に観光し、見て、聞いて、体験したりすることを通し、多くのことを学ぶことができました。

## I、授業と観光について

大体午前中に授業をして午後から観光するという形式でした。13日間のプログラムのうち、6日間、午前中に授業がありました。授業は、土井美穂先生が担当していて、日本人の土井美穂先生と漢城大学で日本語を学ぶ学生さんの二人体制で行われました。内容は、韓国語、韓国の文化・政治・経済・社会の授業で、「語学」と「文化」の2つに分けて授業を行っていました。語学のほうは、書いたりすることは少なく、話したり、聴いたりするのがメインでした。授業では、日常生活で使えるような表現を教えてもらったり、自分たちが滞在中の生活で「これってどういう意味なんだろう」と疑問に思った表現を先生に聞いたりして、学んでいきました。少人数で、わからない時にはすぐに先生に質問できるため、より多くのことを吸収することができて良かったです。また教えてもらった表現を、すぐに生活の中で使うことができるのは、すごく楽しかったし、もっと知りたい、もっと学びたいと意欲が湧きました。文化のほうでは、大韓民国の人口や国土面積などの基本情報や、韓国の人々が行っている年間行事、日韓関係などさまざまな側面からみた日本と韓国について学ぶことができました。日韓関係の問題から、正直なところ韓国に行くのが少し怖いと思っていましたが、韓国人みんなが反日なのではなく、人はみんないい人たちで、日本を毛嫌いしているわけではないことがわかり、安心しました。また、韓国の人々が日本を嫌う理由として、政府が故意に日本を悪く言うようなニュースを放送したり、日本の情報のあることないことを発信していることなどを学びました。それらをどうにかして改善して、良い関係を築き、もっと互いの文化を共有したいと今回のプログラムに参加して思いました。

観光は、本当に色々なところに行きました。なかでも光化門は、韓国ドラマの撮影によく使われているので、ドラマ好きのわたしにとって、行けて本当に嬉しかった場所です。また、世界遺産の昌徳宮は、宮殿の中まで見学することができました。日本のお城と比べ、韓国の宮殿はデザインが派手で、韓国特有のオンドル部屋などがあり、昔の韓国の文化についても知ることできた良い機会でした。アートの街にも行ったのですが、階段全体が芸術作品になっていたり、壁に絵が描かれていたりとても情緒のある場所でした。ま

た、プログラムの後半で乗った漢江のナイトクルージングもとても印象深いです。

↓光化門



↓デザインが派手な宮殿の天井



↓階段アート



↓ナイトクルージング



## II、生活環境について

私たちが滞在したゲストハウスは地下鉄の最寄り駅まで徒歩5分、大学までは徒歩15分ほどのところにありました。ゲストハウスはオートロックで、共同の洗濯機があり、部屋にはクーラーや台所などもついていてとても便利で設備が整っていました。また、ゲストハウスの近くには、コンビニやマーケットなどが数軒あるので必要なものはすぐに買うことができ、便利な環境だったと思います。

ゲストハウスの周りに限らず、ソウルは坂がとても多かったです。スニーカーでないと大変だなと感じました。また、ソウルの地下鉄はとてもわかりやすく1, 2回くらいで、一人でどこでも出かけられるようになりました。日本のSuicaのようなものが韓国にもあり、地下鉄には何度も乗るし、記念にもなるのでキーホルダータイプのものを購入しました。

### Ⅲ、困ったことや失敗談

これからこのプログラムに参加しようと考えている人に向け、私がプログラム中の生活で困ったことや失敗したことを3つ話したいと思います。

ひとつ目は、部屋についてです。先ほど言ったとおり、ゲストハウスは設備が整っていましたし、わたしたちが来る前に必要なものがないか確認してくださったりと、大変良くしてもらったのですが、部屋の床やベッドなどは掃除機を長らくかけていないため、とてもほこりっぽいです。床を拭けるようなものや、簡易スリッパなどを持っていくと良いと思います。

ふたつ目はネット環境についてです。韓国に着くと携帯は機内モードにすると思います。なのでWi-Fiがないとカメラくらいしか使用できないと思います。韓国はカフェに行くとWi-Fiがとんでいて、街のいたるところでWi-Fiがとんではいるのですが、ゲストハウス内はWi-Fiがないので、Wi-Fiのルーターを日本で借りて行ったほうが良いと思います。

最後に、失敗談です。洗濯をするとき、同じくプログラムに参加した人とコンビニで洗剤と柔軟剤を買って分け合って使用しました。洗濯がおわってみてみると、洗剤だと思っていたものが漂白剤だったため、服が色落ちしてしまいました。当然のことですが、商品は全部韓国語で書かれているので入念に確認することと、不安であれば、日本から旅行用の洗剤を持っていくといいかもしれません。



←色落ちしたズボン

### Ⅳ、最後に

今回このプログラムに参加し、自分の目でみたり、聞いたり、体験したり学んだりしたことで、日本で独学するよりも効果的に、多くのことを学ぶことができました。何より、この13日間はとても楽しい時間でした。プログラム参加まで面倒をみてくださった学務グループのみなさんや、家族、授業を担当してくださった土井美穂先生、キム・イルファン先生、案内してくださった学生の方々、一緒にプログラムに参加した二人に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。